

こんにちは

うみ み 議 会 で す

宇美町が **100** 歳を迎えました
未来へ届け私たちの願い



宇美南中学校での
バルーンリリース

見つめようこの百年、うみ出そう次の百年。



2020年に町制施行100周年

100周年記念

Birthday Event

Koe Meter

声メーター

366

実施中!

議会広報が聞いたみなさんの声
2018.4から

もくじ

- 町制施行100周年特集 ②
- 9月定例会 ⑥
- 一般質問 町政を問う 6人が登壇 ⑫
- 委員会活動報告 ⑰



宇美町議会
ホームページ
こちらにアクセス!!

2020.11.13

No. 79

うみ議会だより
9月定例会

宇ちゅうにとどけ私たちの思い



10月20日(火)悠久の歴史をはぐくむ宇美町民の心のよりどころでもある宇美八幡宮において、「100年分のありがとうを未来へ」のスローガンのもとに、宇美町町制施行100周年記念バースデーイベントが開かれました。

イベントは、移設が完了した神楽殿を舞台に執り行われ、宇美町出身のシンガーソングライターの相川理沙さんが作詞作曲された「しあわせに込めて」が披露されました。

会場と各小中学校とはリモートで結ばれ、子どもたちのメッセージと花の種が結ばれた2500個のバルーンリリースで締めくくりました。



「しあわせに込めて」を披露する相川理沙さん



宇美東小学校

きれいに塗り替えられた階段と澄みきった青空にバルーンが鮮やかに映えていました。



宇美中学校

メイン会場と各小中学校とはリモートで結ばれ、大型モニターで生中継されていました。



桜原小学校



宇美東中学校



原田小学校



宇美小学校



井野小学校

商工会青年部ウォールペインティング除幕式



10月20日(火)に宇美町商工会青年部が企画した、町制施行100周年事業「未来をえがけ、宇美っ子！ 100周年記念ウォールペインティング」の除幕式が行われました。

この企画は、KBCのふるさとWishのポスターにも採用され、宇美町のPRに大きく貢献されています。

四王寺坂調整池の壁面に描かれたひときわ目立つ壁画は、宇美町の新たな名所になりそうです。

商工会青年部長の山元大輔さん

ふるさとWishとコラボでき、これからの100年を託す子どもたちが考えた絵を町内外問わず多くの方に見ていただくことができ、ふるさと宇美を誇りに大きく成長してくれることを願っています。

アビスパ勝利でJ1に一步前進 アビスパ福岡宇美町応援デー100周年をアピール

10月4日(日)博多の森のベスト電器スタジアムで開かれたJ2アビスパ福岡対ギラヴァンツ北九州の試合では、多くの町民、サポーターが応援に駆けつける中、キックオフセレモニーに始まり、ハーフタイムでは木原町長が町制施行100周年を猛烈にアピールするとともに、アビスパ福岡の勝利に向けて会場を大いに盛り上げました。

試合もアビスパが2対0で勝利し、100周年に花を添えてくれました。



今季最多のサポーターに100周年をPRする木原町長

宇美商業高校 100周年記念商品販売会

10月23日(金)宇美町役場玄関横で、100周年記念宇美商業高校商品販売会が行われました。

宇美商業高校の生徒が課題研究の一環で、清酒萬代で有名な小林酒造と共同開発した甘酒と塩麴を約60セットを販売しました。

甘酒は「スポーツの後にも飲みやすい」をコンセプトにすっきりした飲み口に仕上げたオレンジ味とピーチ味の2種類。塩麴は料理の調味料にも使えます。

ふるさと納税応援寄附金の返礼品にも採用されていますので、町外にお住まいの知り合いの方にお勧めください。



パッケージを100周年記念デザインに一新しました！



大野城跡(四王寺山)森林浴ウォーキング



これから絶好の紅葉シーズンを迎える四王寺山

今年6月に日本遺産「古代日本の『西の都』～東アジアとの交流拠点」に追加認定された古代朝鮮式山城「大野城跡」を巡る森林浴ウォーキングが、四王寺県民の森協議会の主催で10月24日(土)に行われました。

当日は「四王寺三十三体石仏巡りコース」、「祈りの地と博多湾を望む絶景コース」、「岩屋城コース」の3コースに分かれて実施され約50人が参加しました。

四王寺山は江戸時代には祈りの山として、疫病が流行した際に四天王が祀られ、多くの経塚に銅製の経筒に入れた写経が納められました。また、三十三体の石仏が祀られており、今も多くの方が石仏巡りを楽しんでおられます。

宇美町は石仏巡りコースを担当し、参加者は学芸員の歴史的背景などの説明に聞き入っておられました。



周囲8キロに及ぶ土塁はミニ万里の長城と言われ、石仏は土塁の周辺に置かれています。石仏を巡りながら絶景ポイントや滝などの名所を巡ることができる四王寺山は、絶好のハイキングコースになっています。



10月24日(土)から1年間にわたり、「四王寺三十三体石仏スタンプラリー」を行っています。

県民の森センターまたは宇美町歴史民俗資料館でオリジナル石仏缶バッジがもらえます。詳細はホームページをご覧ください。



宇美中学校2年生が議会を取材

議会を取材することで次の100年が見えてくる



宇美中学校2年生は、総合の学習の一環として、町内のさまざまな職場や店舗を取材し、報告会を行う取組をされ、竹山君、柴戸君、濱田君の三人が議会を取材してくれました。

議会からは、正副議長と両常任委員長が議会広報や副読本「わたしたちの宇美」を使って質問に答えました。後半は、議場に入って模擬的な質問体験やモニター・マイクの操作体験をするなど、議会の雰囲気を感じました。

「議会を知れば、町の次の100年が見えてくると思います。取材に来ました。議会からの要望で全小中学校にエアコンが設置されたことを知り、この夏エアコンがなければ大変なことになっていたと思います。また、新型コロナウイルス感染症対策もしっかり行っていただいている」と感想を語ってくれました。



タブレット端末を使った取材



モニターやマイクの操作を体験



発言者席で模擬質問を体験



全戸に配布される副読本「わたしたちの宇美」

宇美町議会ワンチーム



町制施行100周年を祝うカウントダウン100を町のホームページやフェイスブックページで行ってきました。ラスト一日は、宇美町議会からお届けしました。議会も町もワンチーム。心をつなぐ次の100年に向けて進んでいきます。

議長 古賀ひろ子

宇美町が誕生して100年という町の歴史にとって大変意義深い日を迎えることとなり、心より祝福したいと存じます。

大正から昭和、平成から令和と続く激動の中を先人たちのご尽力により、本町は常にたゆむことなく、着実に前進・発展を続けてまいりました。

議会としては、輝かしい次の100年のために、今後とも全議員が議会活動を通じて、より良い宇美町の実現に向かって邁進してまいります。

大先輩よりひと言

議会議員OBから次の100年へつなぐメッセージ

副議長 議長 中市 和博氏 西依 和彦氏 藤野 莞嗣氏 藤木 匠氏



故村山 敏男氏 故賀茂 俊雄氏 神武 照氏 神武 敬佑氏 石川 義一氏 松下 弘毅氏

中市和博さん

昭和61年から平成26年まで7期28年間ご活躍

大正9年に町制施行され、本年10月20日で100周年を迎え誠にありがとうございます。

倭国の事情が詳しく記されている中国の古書「魏志倭人伝」に不弥国という文字があり、これが宇美町ではないかという説があります。山紫水明に恵まれ、古い歴史と文化財が豊富に鎮座する郷を、これからも博多の奥座敷として、価値ある歴史の町として次世代に引き継いでいただきたいと願っています。

藤木匠さん

平成14年から平成30年まで4期16年間ご活躍

青年団長をしていた時期に、宇美町は福岡地区のどん詰まりだが、勝田線を太宰府まで延線できれば、福岡都市圏の東側の開発が一気に進むと町の未来を語っていたこともありました。

地下鉄は空港まで伸びていますが、博多の森から志免町～宇美町～太宰府市へと延伸できれば、通勤・通学の利便が高まるだけでなく、インバウンドの観光客も取り込めます。若者が大きな夢を語れる宇美町であって欲しいと願っています。

9月定例会

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に3億2,500万円を追加補正

9月定例会は、3日から18日までの16日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は人事案2件、諮問案2件、工事請負契約変更案1件、条例案5件、予算案2件、決算認定案5件、報告1件で、すべてを原案のとおり可決しました。

また、委員会発議1件を可決しました。

一般質問には6議員が11項目について町政を質しました。

補正予算

※万円未満四捨五入

宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2,688万円を減額。予算総額40億3,658万円。繰越額の確定等に伴う補正。

問 財政調整積立基金の将来的な運用の見通しは。

答 昨年度16年ぶりに6,587万円の黒字となった

ため、基金に積み立てる方向で予算化している。

(全員賛成で可決)

令和2年度宇美町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ3億2,526万円を追加、予算総額165億8,352万円。主な補正内容は、新型コロナウイルス感染症に伴う環境対策事業や防災対策事業、環境整備事業などを実行するため、庁舎内感染防止対策事業、防災対策事業、小中学校管理関係経費の増額をする一方で、新型コロナウイルス関連に伴う事務事業の見直しによる減額を行う。

問 コンビニ交付導入業務委託料について、住民票や印鑑証明書などを窓口で発行している中、コンビニでの発行割合の見込みは。

答 住民課の窓口で発行する各種証明書の3〜4割程度がコンビニでの発行に移行すると考えている。

(全員賛成で可決)

問 防災気象情報システム管理業務委託費について、急遽終了の理由は。

答 現在委託している業者がシステム障害により継続不可能となり、新たに別業者で契約することとなり検討中。

(全員賛成で可決)

工事請負契約締結の議決内容の一部変更

庁舎外壁屋上防水改修工事の工事請負契約締結に係る議決内容の一部を変更。外壁改修工事、附帯工事の増工、防水工事、解体撤去工事の減工等により、請負契約額1億7,924万円を1億8,858万円に変更。

(全員賛成で可決)



外壁塗装が完了した役場庁舎

条例

宇美町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

子どもの健康保持と子育て世代の経済的負担軽減を図るため、通院に係る子ども医療費の支給対象年齢を中学生まで拡大。

問 中学生までの通院の補助ができるように木原町長が尽力されたことに敬意を表しますが無償化はできないか。

答 また、無償化の経費は。無償化については状況を見て検討していきたい。無償化にすると約2千万円の経費が必要。

(全員賛成で可決)

	自己負担額<1医療機関ごとの上限額>	
	入院	通院
3歳未満	無料	無料
3歳~小学校就学前	500円/日×7日 (月3,500円) (所得制限なし)	800円/月 (所得制限なし)
小学生	500円/日×7日 (月3,500円) (所得制限なし)	1,200円/月 (所得制限なし)
中学生	500円/日×7日 (月3,500円) (所得制限なし)	制度なし

↓

1,600円/月
(所得制限なし)

(拡大前) (拡大後)

宇美町町民農園条例の一部を改正する条例

農園用地の所有者への返還に伴う第1農園の閉園に伴う改正。

問 所有者への返還による閉園については仕方ないと思うが、新たな農園確保はできないのか。

答 自己保全管理をしている場所があるが駐車場等の条件が合わない。今後、条件があった場所があれば農園として広げていきたい。

(全員賛成で可決)



宇美町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

重度障がい者医療費の支給に関する条例準則の改正に伴う一部改正。主に「障害」の文言を「障がい」に改める改正。

(全員賛成で可決)

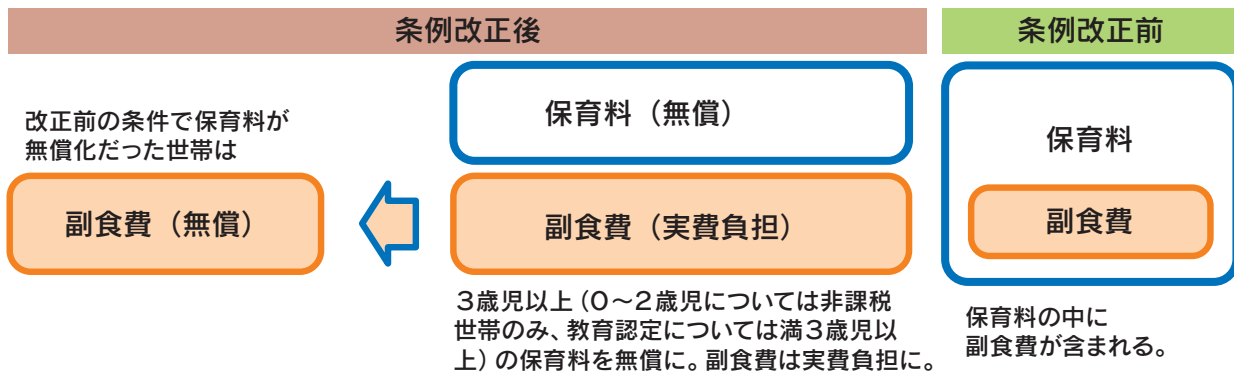
子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

①宇美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
②宇美町保育の必要性の認定に関する条例の一部改正
③宇美町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部改正

①～③の条例について、子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う用語の整理。「支給認定」を「教育・保育給付認定」に改める。
①の条例について、子どものための教育・保育給付の利用負担額の無償化等について整備。

(全員賛成で可決)

保育料・副食費の改正内容



宇美町町民憲章審議会条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度における宇美町町民憲章審議会の会議を中止したことに伴い、「令和2年12月31日」の条例効力失効日を「令和4年3月31日」に改める。

(全員賛成で可決)

委員会発議

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方財源の確保を求める意見書の提出。

提出者 議会運営委員会

委員長 南里 正秀

(全員賛成で可決)

人事案の同意・承認

固定資産評価審査委員会委員の選任

安河内 毅氏(再任)

自治功労表彰候補者の推薦

久野 信子 氏
学校薬剤師として、昭和61年4月1日就任、令和2年3月31日退任、34年間在職に對しての表彰。

自治功労者とは・・・

町長、副町長、教育長、議員、民生委員、選挙管理委員、保護司、農業委員などの役職に一定年数以上在職後退任された方で功績が顕著であるとして町長が推薦し議会が承認し表彰された方です。

※今までに表彰を受けた方58名(今回の推薦の方も含む)

諮問答申(適任)

人権擁護委員候補者の推薦

岩下 美津子 氏
平島 直美 氏

一般会計 歳入合計 131億7,348万円



自主財源	
①町税	37億5,243万円
②その他	17億 558万円
依存財源	
③地方交付税	26億1,262万円
④国県支出金	30億6,514万円
⑤町債	11億6,701万円
⑥その他	8億7,070万円

※万円未満四捨五入

一般会計 歳出合計 127億6,427万円

①民生費	45億8,973万円
②総務費	19億5,068万円
③教育費	17億8,683万円
④土木費	13億9,548万円
⑤衛生費	11億6,534万円
⑥公債費	9億9,991万円
⑦消防費	4億9,477万円
⑧その他	3億8,153万円

※万円未満四捨五入



●平成31年度決算表 ※万円未満四捨五入 前年度比

一般会計	歳入	131億7,348万円	12.8%増
	歳出	127億6,427万円	13.9%増

特別会計	国民健康 保 険	歳入	39億1,178万円	0.2%増
		歳出	37億9,541万円	3.3%減
	後期高齢者 医 療	歳入	4億4,002万円	4.3%増
		歳出	4億1,956万円	4.2%増

上水道事業会計

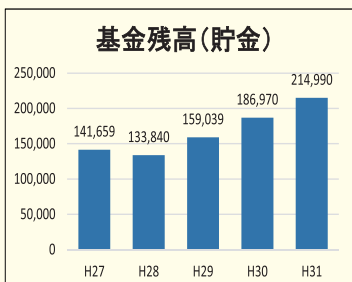
収益的収入	8億 54万円
収益的支出	6億6,772万円
資本的収入	1億 970万円
資本的支出	4億3,400万円

流域関連公共下水道事業会計

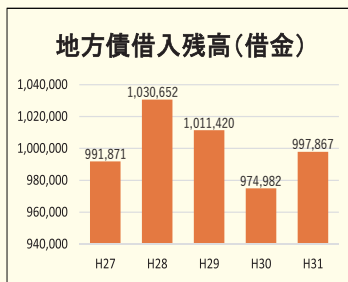
収益的収入	8億9,833万円
収益的支出	8億7,207万円
資本的収入	7億3,800万円
資本的支出	9億6,676万円

基金及び地方債借入残高の推移(直近5か年)

万円	
基金残高(貯金)	
H31	214,990
H30	186,970
H29	159,039
H28	133,840
H27	141,659



万円	
地方債借入残高(借金)	
H31	997,867
H30	974,982
H29	1,011,420
H28	1,030,652
H27	991,871



平成31年度決算を認定

特 集

定 会

決 算

臨 時 会

一 般 質 問

各 種 委 員 会 活 動

**決算審査
特別委員会**
委員長 飛賀貴夫

**平成31年度決算を
徹底審査**

決算審査については、議長を除く議員全員による決算審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。

主な質疑を要約してお知らせします。

※すべての会計において、全員賛成で認定とするものと決定。

後期高齢者医療会計

問 医療費が県内でトップとなっている要因は。

答 大きな病院が近くに多くあり医療機関を受診しやすい状況にある。生活習慣病に起因する比較的高額な医療費がかかる病気の割合が県内の自治体の中で一番高い状況となっている。

問 100万円以上の滞納者が2名いるが、現状は。

答 1名は財産調査が全て終了し、滞納処分は執行停止処分をした。もう1名は今年度に一括で納付され、現状で100万円以上の滞納者はゼロという状況である。

国民健康保険会計

問 収納業務委託料の雇用人数と業務内容は。

答 平成30年度から嘱託職員から業務委託に変更、国保に特化したものではなく全体の収納業務となっている。人数は常勤2名、非常勤3名、経費については国保分と一般会計分6対4の割合で按分している。

問 新型コロナウイルス感染症の影響で国保加入者が増加すると予想しているが、今後の状況は。

新型コロナウイルス感染症の影響で国保加入者が増加すると予想しているが、今後の状況は。

答 コロナの影響で会社が倒産したため国保に加入された場合は、減免制度がある。制度を利用することで税額が下がるので、それが直接滞納につながることはない。コロナの影響で減免した額についても国からの補てんがある。

景気の動向で国保の加入者が増え、若干滞納者が増えることを懸念している。

上水道事業会計

問 自己水源比率が36.3%と増えているが、どうやって賄ったのか。

答 自己水源は、山の内、障子岳浄水場を活用している。今回、自己水源比率が増えている分は、障子岳浄水場で井戸からの取水を増やして対応している。

問 当年度の純利益と前年度の繰越剰余金で1億9千万円の財源があるがコロナの緊急事態ということで水道料金の減免・無償化の協議はなかったのか、また、2か

月無償の場合の経費は。基本料金の減免や水道料金の月額分の減免を検討したが、不公平感があるため見送った。ただ、基本料金の減免については今後も検討していく。無償の場合は、1億2千万円程度の財源が必要となる。



山の内浄水場

一般会計

問 福祉巡回バス事業は利用者から利用しにくいという声があるが令和3年度末の契約終了まで現行のままを実施するのか。

答 現在、西鉄、地域コミュニケーション活性化委員会に問題を投げかけながら協議を始めている。

問 コロナ対策地方創生交付金でタクシー補助事業ができないか。

答 コロナ対策事業でタクシーの助成事業としては検討していない。

問 プラスチックごみのリサイクル化(油化)の推進は。

答 宇美町でも取入れられるようであれば検討する。

流域関連公共下水道事業会計

問 企業債の繰り上げ償還はできないのか。

答 繰上げ償還はできるが、利子相当分の補償

新型コロナウイルス対策で独自事業など 1億6,062万円を追加補正 (8月) 9,237万円を追加補正 (10月)

臨時会

特集

定例会

決算

臨時会

一般質問

各種委員会活動

8月臨時会

条例

宇美町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

糟屋地区内における学校薬剤師の報酬見直しに伴い報酬額の引き上げの改正。

年額8万2千円を年額14万7,500円に改正。

(全員賛成で可決)

補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第3号)

※万円未満四捨五入

歳入歳出1億6,062万円を追加し、予算総額を162億5,826万円とする。

主な補正は、感染防止対策事業、防災対策事業、町民活動活性化拠点事業。

【主な補正】

学校内感染防止対策事業費

924万円新規事業

子安のまち出産子育て応援給付金給付事業
3,008万円新規事業

防災対策事業費

2,175万円増額

児童生徒熱中症対策事業

496万円新規事業

問 庁舎内感染防止対策事業費として1千万円計上されているが、帰省する学生に対してPCR検査を無料で取り組んでいる自治体があるが、そのようなことはできないのか。

答 現行では、国県の感染症防止対策体制で対処していく。

問 子安のまち出産子育て応援給付金について、今年4月28日以降に生まれた子どもに10万円を給付する事業の周知方法は。

答 対象の事業が4月28日からということ、議決されれば速やかに郵送による周知を行う。その後の出産については、住民課の窓口で出生届を受ける際に連携を取り、周知していく。

(全員賛成で可決)

10月臨時会

補正予算

令和2年度一般会計補正予算(第5号)

※万円未満四捨五入

歳入歳出1億217万円を追加し、予算総額を166億8,570万円とする。

主な補正は、感染防止対策事業、防災対策事業等。

【主な新規事業】

飲食店宅配サービス等支援事業費

401万円新規事業



宅配ピザ屋のシステムを活用



ホームページ
こちらにアクセス!!

感染防止対策実施事業者協力金給付事業費

5,853万円新規事業



ホームページ
こちらにアクセス!!

学校支援事業費(修学旅行用パスの台数増及びキャンセル料)

255万円

電子書籍導入事業費

2,728万円

問 電子書籍事業の開始時期、利用方法、周知方法は。

答 また、他自治体との連携が可能か。

答 事業の開始は12月ごろ、利用方法はホームページに電子図書館コーナーを開設。

周知については、小中学校を通じて児童生徒への周知、地域での説明会、図書館の来館者にも周知して拡げていきたい。

他自治体との連携については、現段階では検討していない。

問 飲食店宅配サービス等支援事業の周知や町外の宅配先範囲などの戦略についての考えは。

答 周知は町のホームページ、ケーブルテレビ等ほかにもさまざまなメディアを活用したい。戦略としてはクーポン券の活用、GO TO イートの活用も視野に入れている。

(全員賛成で可決)

全会一致で承認・可決した議案

令和2年8月臨時会 表決一覧

議案名
宇美町特別職で非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正・・・学校薬剤師の報酬額の引き上げ
令和2年度 一般会計補正予算（第3号）・・・歳入歳出1億6,062万6,000円追加し、予算総額162億5,826万1,000円（新型コロナウイルス感染症対策に伴う補正）

全会一致で承認・可決した議案

令和2年9月定例会 表決一覧

議案名
工事請負契約の議決内容の一部変更・・・庁舎外壁屋上防水改修工事 請負契約額934万4,500円増額し、1億8,857万9,600円
宇美町重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正・・・障害者を障がい者とひらがな表記に変更
宇美町子ども医療費の支給に関する条例の一部改正・・・通院に係る子ども医療費の支給対象を中学生まで拡大
宇美町町民農園条例の一部改正・・・第1農園の閉園に伴う規定の整備
子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例 ・・・令和元年10月からの保育給付利用者負担額の無償化による関係条例の改正
宇美町町民憲章審議会条例の一部改正・・・新型コロナウイルス感染拡大防止により、令和2年度の会議開催を中止したため審議会の終期を令和4年3月31日まで延長
令和2年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）・・・歳入歳出2,688万3,000円減額し、 予算総額40億3,658万1,000円
令和2年度 宇美町一般会計補正予算（第4号）・・・歳入歳出3億2,526万2,000円追加し、 予算総額165億8,352万3,000円
平成31年度 宇美町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定・・・歳入総額4億4,001万8,955円 歳出総額4億1,955万9,861円
平成31年度 宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定・・・歳入総額39億1,178万1,700円 歳出総額37億9,541万395円
平成31年度 宇美町上水道事業会計利益の処分及び決算認定・・・収益的収入8億53万6,659円 収益的支出6億6,772万2,954円 資本的収入1億970万3,222円 資本的支出4億3,400万3,593円
平成31年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定・・・収益的収入8億9,832万7,594円 収益的支出8億7,206万8,120円 資本的収入7億3,799万9,600円 資本的支出9億6,675万7,237円
平成31年度 宇美町一般会計歳入歳出決算認定・・・歳入総額131億7,347万7,464円 歳出総額127億6,427万2,708円
発議・・・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出

全会一致で可決した議案

令和2年10月臨時会 表決一覧

議案名
令和2年度 宇美町一般会計補正予算（第5号）・・・歳入歳出1億217万3,000円追加し、 予算総額166億8,569万6,000円

一般質問 町政を問う6人が登壇!

南里 正秀 議員 ——— 13P

- ◆自治会統合・再編の取組について
- ◆共に町制100周年を迎える宮崎県都農町との友好関係を継続するために協定等を締結する考えは
- ◆日本遺産追加認定について

飛賀 貴夫 議員 ——— 14P

- ◆少子化を見据えた教育行政は

黒川 悟 議員 ——— 15P

- ◆コロナ禍における避難所運営のあり方は
- ◆持続可能なまちづくりの実現を

入江 政行 議員 ——— 16P

- ◆学校給食のパンからグリホサート(発がん性化学物質)が検出されたが、学校給食に関してどう考えるのか
- ◆コロナ対策にどのように取り組むのか

平野 龍彦 議員 ——— 17P

- ◆子どもたちの未来づくりのために2020年をコロナに負けないリモート学習元年に

丸山 康夫 議員 ——— 18P

- ◆宇美町の新型コロナウイルス対策は十分なのか その2
- ◆いまこそ高齢者対策に力をいれるべきでは

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを聞いたただすことです。

昭和の森(一本松公園)の紅葉)

宇美町は三方を山に囲まれた緑豊かな町です。三郡山系の河原谷や登山口でもある昭和の森、また、四王寺山では紅葉が見ごろを迎えています。

ハイキングに手ごろなコースもたくさんありますよ。紅葉狩りに出かけてみては。



南里 正秀 議員

48自治会の統合・再編を

答 制度設計は行政が主導

問 現在、数世帯から1,000を超える世帯まで48の自治会があるが、地域コミュニティ推進のためには自治会統合・再編は近い将来必ず対応しなければならない課題ではないか。

答 まちづくり課長
自治会活動にも格差が生じており、解消するためにも、合併等が必要と考えている。井野・新井野の合併をよい前例として、地域と町が一緒になって進めたいと考える。

問 自治会の再編等について、町民の意識を高め理解してもらうために、現状を伝える情報発信が大切。

今後、アンケート等を実施する考えは。また、コミュニティ運営協議会や自治会長会議での議論も重要では。

答 課長 実際に地域活動を行っている方を対象にアンケートの実施が必要と考えている。

校区コミュニティ等でも意見を伺いたい。

問 行政の積極的な支援策も重要。交付金などの支援制度を創設・拡充する考えは。

答 課長 指針や支援制度についても検討する。

問 自治会の統合・再編に対する町長の見解は。

答 町長 当町の活性化やコミュニティの成熟に向けても避けられない喫緊の課題と認識している。

統合等の制度設計は行政が主導して進めるべきと思っている。

宮崎県都農町との友好協定を

問 共に町制施行100周年を迎える都農町と、これまで温めてきた絆を大切に、今後も連携を強化していくために、友好協定を締結



役場庁舎に設置された日本遺産認定の懸垂幕

する考えは。

答 町長 協定の締結については、都農町長と情報交換を行い、お互いその意思があることを確認した。経済やスポーツ交流、青少年交流などを考えているが、極力早い時期に協議したい。

日本遺産「大野城跡」のPRを

問 日本遺産「古代日本の『西の都』」の関連自治体として宇美町が追加認定された。

これを契機に「大野城跡」を積極的にPRすべきと思う。

貴重な歴史的資源を教育やまちづくりの観点からどのように活かしていくのか。

答 教育長 副読本「わたしたちの宇美」を活用した学習を通して、郷土に対する誇りを育む教育活動を進めている。

答 町長 「宇美町の大野城跡」と思われるくらいに、住民としての誇りや郷土愛を一層高めてもらうようPR活動や啓発事業に積極的に取り組みたい。



飛賀 貴夫 議員

少子化を見据えた 教育行政は

答 教育委員会諮問機関 設置に向けて検討

問 当町の少子化の現状と課題は。

答 こどもみらい課長 当町の総人口は、平成23年度末の38,162人をピークに減少を続け、平成31年度末には37,295人となった。出生数は、平成23年の344人から減少を続け、平成28年以降毎年300人を下回っている。

第6次総合計画後期実践計画の重要目標である「安心して産み育てることができると育ち・子育て環境の整備」の実現のために、子ども・子育て支援事業計画に基づき、少子化対策に取り組んでいる。

問 少子化に対応した学校づくりで、小規模化における教育上の多角的課題について、教育活動の面と社会性育成の面からは。

答 教育長 教育活動の面では、新学習指導要領の「対話的学び」

等の取組は、一定規模の集団での活動が必要で、少子化による教育的影響については、学校や学級規模による教育効果の検証が必要である。

社会性育成の面では、少子化が進むことにより、学校が小規模化し、教育条件に影響が出ることに懸念され、学校、家庭、地域における子どもの社会性が弱まり、一定の集団規模を確保した教育環境の整備が課題解決になる。

問 宇美町公共施設再配置計画では、学校の統廃合を進めようとしている。

統廃合によって中学校が無くなることは、子育て世代の人口流失など過疎を招き、地域の衰退に直結する。地域住民が学校に思う役割は、教育の場、地域のまとまりの象徴、地域活動の対象、地域住民の誇りなどの

役割を担っている。

①小中学校の保護者、地域住民への思いは。
②地域コミュニティの核「防災」「地域交流の場」の考えは。

③学校施設の合理化は。
答 学校教育課長 保護者や地域住民の皆様が「おらが学校」に寄せる期待は大きいものと考えている。

学校は、教育のための施設だけではなく、各地域コミュニティの核として防災、保育、地域交流の場など、さまざまな機能を併せ持つっており、当町のまちづくりに関わり大きく関わっている。

学校施設の合理化といたったハード面に止めず、小中一貫校教育、コミュニティスクール、チーム学校など教育行政のあり方を大きく変える新たな潮流の取込みを見据えて検討する必要がある。

問 学校統廃合は、教

育問題であるとともに、まちづくりの問題でもある。

保護者、地域住民の思いを尊重し、協議の場が必要で、少子化を見据えた新たな学校のあり方を検討、議論すべきである。

例えば小中一貫校、義務教育学校（9年制）、小規模特認校の調査研究に取り掛かり、学校規模と教育的価値の検証を行う教育委員会諮問機関を設置しては。

答 教育長 教育委員会として、安易に統廃合を進めることは考えていない。

学校の公共性・地域性を正當に評価して検討する考えで、全校区において、教育的効果と学校規模の相関を検証し、保護者、地域住民、行政等が「宇美町のこれからの教育を考える」協議を進め教育委員会諮問機関の設置に向けて検討する。



黒川 悟 議員

コロナ禍における 避難所運営のあり方は

答 今後、さらなる検討を
図っていききたい

問 コロナ禍での避難所運営のあり方について、「宇美町地域防災計画」の見直しは。

答 危機管理課長 地域防災計画は、平成29年11月に作成されたものが最新で、新型コロナウイルス感染症対策等を盛り込んで策定しなければと思う。

5月に緊急事態宣言が出され、当町の新型コロナウイルス感染症等行動計画を担当する健康福祉課と連携しながら個別の変更点も併せて見直しの計画を慎重に進めている。

問 大規模災害時の避難所の活用について。

答 課長 通常は、町内83か所の避難所のうち、重要施設8か所を開設してパーテーションや災害対策用品等を整備活用し、約400世帯の収容を想定している。

大規模災害の場合、8か所では収容困難で

あるため、83か所をすべて活用すると思われるが、各避難所に配置する職員も不足するため、自治会のお力をお借りしなければならぬと思う。

問 避難レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」の重要性は。

答 課長 今年の7月豪雨、台風10号では、夜間の避難は危険性が生じるため、明らかに避難準備等の発令を行った。レベル3の活用は非常に重要だと認識している。

問 要支援者の名簿の登録、個別支援計画の作成の現状は。

答 課長 現在900名以上の登録があるが、手挙げ方式で策定したため、見直しが必要。

自治会の中では介護が必要な方を把握し、担当を決められている自治会もある。

今後も自治会、地域

コミュニティに向き、防災力等の向上について協議を進めたい。

.....

持続可能なまちづくりの実現を

問 町政にSDGsの理念・目標を学び、取り入れることは、重要と思うが認識は。

答 まちづくり課長 第2期宇美町総合戦略において、SDGsの考え方を施策に取り組んでいく。

問 学校教育にSDGsを取り入れることは。

答 教育長 SDGsの示す17目標中の4「質の高い教育をみんなに」の中に持続可能な社会の創り手の育成を図ることは、極めて大きな役割を担っている。

本町の重点内容の学力や不登校の問題も含め、環境問題、人権問題等、学校で学ぶこと

すべてがSDGsに関連しており、今後も、啓発、助言をしていきたい。

問 新型コロナウイルスの感染拡大の事態が悪化したときSDGsの理念に基づいた町の対策は。

答 町長 SDGsの理念である「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指す。多額の財政出動を余儀なくされた場合は、必要に応じて、選択と集中のバランスを勘案し、財政調整基金を取り崩し、その対策に取り組む。

※SDGsとは、持続可能な世界の達成を目指す17目標と169のターゲットで構成された国際目標です。



SDGsのマーク



入江 政行 議員

学校給食のパンから グリホサート(発がん性化学物質) 検出

答 報道等で認識はしている

問 学校給食のパンからグリホサート(発がん性物質)が検出された。農民運動全国連合会の食品分析センターが2018年から2019年に国内で販売されている小麦粉やパン・パスタ等の小麦製品の農薬残留検査を行い、ほとんどの製品からグリホサートが検出、国内産の小麦からは検出されていない。

答 学校教育課長 輸入小麦を使用した学校給食の食パンからは、0.05ppmから0.08ppm検出されている。給食のパンからグリホサートが検出、町としての認識は。

問 令和元年度の検査結果は基準値以下となっている。町独自の検査は非常に難しいため、県の検査の公表に注目していきたい。

答 学校教育課長 宇美町学校給食運営検討委員会を設置し、新鮮で良質なものを選択して不必要な食品添加物が使用されない食品や有害物又その疑いがある食品の使用については配慮している。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

答 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

答 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

答 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

答 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

答 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

答 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

答 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

答 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

問 私たちの生命をつなぎ、健康を維持するために必要な食料を生産しているはずなのにこの生産物が私たちがガンに近づけて命を奪っているという皮肉な現象になっている。

※グリホサートとは除草剤の成分名で発がん性物質であると指摘されている。

◆コロナ対策にどのように取り組むのか。



平野 龍彦 議員

コロナに負けない リモート(遠隔)学習を

答 中学3年生の 端末環境整備から進める

問 3月2日から5月31日までの学校休業中は、新宮町ではリモート(遠隔)による学習支援をしたが、本町はどのような家庭学習支援をしたか。

答 学校教育課長 保護者に課題プリントを受け渡したほか、電話連絡とインターホン越しの家庭訪問により、家庭学習の充実及び心身のケアに努めた。

問 今年4月から施行の戦後最大級の教育改革となる新学習指導要領の目玉であるプログラミング教育と英語教育は、学校休業中に実施ができたのか。

答 課長 プログラミング教育は井野小学校の一部で実施、また英語教育はワークシート配布で学習支援をした。

問 今回の休業中に、子どもたちと教職員の心をつなぐリモート指導や学習動画の配布に

よる家庭学習支援はできなかったか。

答 課長 各学校では、学習支援サイトの紹介や、プリント解説と体操動画をYouTube配信でサポートをした。

問 学習の遅れを夏休みの短縮等で取り戻せていない生徒がいる。最終学年の中学校3年生は来年度を迎えるが、リモート学習ができる端末整備を最優先にできないか。

答 課長 GIGAスクール構想の実現に向けて端末とネットワークの整備をしているが、中学3年生の端末環境整備から進める。

問 次の有事の際には、学校休業になっても最終学年である中学3年生の分散登校を。

答 課長 学校規模による教科担任配置にもよるが、中学3年生の分散登校を優先することも考えられる。

問 GIGAスクール構想(教育の情報化)は端末機の整備だけではできない。学びを止めない新しい学習様式を支えるには宇美町独自の家庭学習支援としてのポータル(ウェブ)サイトの開設が必要では。

答 課長 現在計画はないが、今後は調査研究をする。

問 高校入試は特定の受験生が不利益を被ってはならず、最大限の配慮が必要である。文科省の総合対策には学びを止めないこととなっている。福岡県教育委員会へ試験日や出題選択制等の受験配慮の働きかけをしてはどうか。

答 課長 県の動向に注視しながら情報を的確に収集し、学校や対象生徒に情報を提供して、適切な進路指導を行っている。



*GIGA=Global and Innovation Gateway for All
すべての子どもたちに世界とイノベーションへの入口を (意訳)



丸山 康夫 議員

宇美町の新型コロナウイルス 対策は十分なのか その2

【答】電子地域商品券の発行について 商工会と協議を進めている

問 9月補正予算において、新型コロナウイルス感染症対策が提案されているが、町民の暮らしと経済を守るための政策がすつぽりと抜け落ちている。

答 中小事業者の苦境が伝えられ、飲食店の廃業が相次ぐ中で、国の交付金を活用した町独自事業では、6千5百万円を基金へ積み戻し不要不急の事業と思われるキッズパーク（児童公園）の整備を行おうとするなど、優先順位が間違っている。

問 国からの交付金は本来何に使われるべきなのか。

答 まちづくり課長 感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図るために使われる。

問 プレミアム付き地域商品券事業は、宇美町の経済を回していく上で大変有益な事業であると考えているが、発行

額が1億2千万円と少ない。販売状況はどうなっているのか。

答 課長 8月29日の9時に販売を開始し整理券の配布を行い、翌日には完売している。

問 炎天下で地域商品券を買いに行くのも命がけといった感があつた。早々に売り切れてしまったが、本来地域商品券を必要としている、高齢者や子育て世帯に行き渡っていないのではないか。

答 課長 結果的に想定を超える方が殺到され、2日間で完売となり多くの方々の希望に添えなかったことを重く受け止めている。

問 現在の地域商品券は紙ベースでアナログであるため、発行も換金も集計も大変な労力と時間がかかる。

答 電子地域商品券事業に各地の自治体を取り組みを開始している。

宇美町でも早急に取り組むべきでは。

答 町長 電子マネーの普及が進んでおり、導入に向けて商工会と協議を進めている。

いまこそ高齢者対策に力を入れるべきでは

問 福祉バスのハピネス号の利用者は、ピーク時と比べ4割減少し費用は5割増となっている。早急な運行の見直しが必要なのでは。

答 まちづくり課長 町民から利便性が悪いとの声もいただき重く受け止めている。委託先である西鉄バスと協議を行うとともに地域活性化委員会でもご意見をいただくなど契約の見直しに着手した。

問 急激に高齢化が進む中、シルバー人材センターの設置が急務だと考える。国も設置を

促すために補助金も出している。

答 福岡都市圏で唯一設置されていない本町でも、設置に向けて取り組むべきでは。

答 健康福祉課長 シルバー人材センターの設置は慎重に協議する必要がある。

地域の生活支援を行う制度として、社会福祉協議会が運営している「有償ボランティア支え合い制度」があるので、事業の周知や人材発掘、育成のために社会福祉協議会と連携して普及啓発を進めていきたい。



福祉バスハピネス号

総務建設
常任委員会

Topics

防犯カメラシステム支援自動販売機導入事業

危機管理課報告

事業の概要

防犯カメラシステム支援自動販売機及び防犯カメラの設置及び管理に関し、特定非営利活動法人「元気種っと」と協定を締結し、町の公共施設等に設置する支援自動販売機の売上の一部を防犯カメラの設置・維持管理費に充てる。

防犯カメラは、各小学校区コミュニティ内2か所合計10か所に設置予定。



自動販売機の売り上げで防犯カメラを設置

事業の流れ

- H31. 3.28 「元気種っと」と協定締結
- H31. 7.19 地域活性化委員会(校区コミュニティ)に要望とりまとめ
- H31. 9.12 粕屋警察署防犯カメラアドバイザー現地調査
- R 1.10. 4 粕屋警察署意見書照会
- R 1.11.20 福岡県警察本部意見書照会
- R 2. 1.22 信号柱強度計算合否結果
- R 2. 3.24 福岡県警察本部行政財産使用承諾及び覚書
- R 2. 4. 3 信号柱使用許可
- R 2. 4.30 「元気種っと」と設置について協議(コロナの影響を受け部品が不調達)
- R 2. 7.22 「元気種っと」と設置について協議(8月より随時設置準備開始)

厚生文教
常任委員会

Topics

学校の空調機器の利用状況等を視察

桜原小学校訪問

9月10日、桜原小学校を訪問し、昨年度各教室に設置した空調機器の利用状況と本年度実施の校舎外壁等改修及びトイレ改修工事、校内通信ネットワーク整備状況を視察した。

コロナ禍の中、子どもたちは新しい生活様式に沿って、空調が効いた教室で熱心に学習に励んでいた。

各種工事も順調に進んでおり、整った学習環境でICT機器を活用した授業の実践が期待される。



エアコンの整備やトイレ改修により、快適な学習環境が整えられています。

厚生文教

常任委員会

Topics

学校給食無償提供等による支援

学校教育課報告

夏季休業期間短縮に伴う登校日における給食の実施に際し、小学校は無償提供、中学校及び国県私立の小中学校在籍者には給食費相当のお米券(約10kg相当)を支給して保護者負担の軽減を図る。

厚生文教

常任委員会

Topics

子ども医療費支給対象年齢の拡大

住民課報告

子育て世代の経済的負担軽減を図るため、支給対象を中学生の通院までに拡大し、令和3年4月1日から中学生の通院に係る医療費の自己負担額を1医療機関ごとに1か月1,600円を上限とする。

町制施行 100周年記念特集

宇美町の歴史を見つめてこられた方々に
スポットを当てることにしました。

第18代町長 神武 照さん(92歳)



神武照さんは、昭和57年3月から3期約12年間、議員としての職責を全うし、引き続き平成6年3月に宇美町長に就任され、2期8年の間、宇美町を支えてこられました。

町長在任中は、施設整備において、町立武道館や原田中央区改良住宅を完成。そのほか、うみハビネスの建設など住民の生涯スポーツと健康・福祉増進を進める一方で、防災体制の強化にも努められました。

思い出話では、町立武道館の建設の際、国の補助金を獲得するために陳情を繰り返したことが、都市計画道路志免宇美線の事業認可まで進めたが、平成15年に大水害が発生して計画が大幅に見直され非常に残念な思いをしたことなどのお話をされ、「道路インフラ整備は宇美町にとって最大の課題だと思っており、今後の宇美町に期待している」と語られました。

現在は、92歳になられる神武さんですが、週3日のグラウンドゴルフにも出かけられ、お元氣な姿に感銘を受けました。

今年は町制施行100周年という記念すべき年です。これまで宇美町の激動の時期に、大切な町政の舵取りをされたお二人の歴代町長に、在任中の思い出や、これからの宇美町に期待することなどをお聞きしました。

第19代町長 安川 博さん(84歳)



安川博さんは、平成11年に宇美町教育長に就任、平成14年3月に宇美町長に就任され、3期12年の間、豊富な識見と卓越した指導力をもって、宇美町を支えてこられました。

町長在任中は、「まちづくりはひとづくり」を政治理念とた生涯学習のまちづくりを推進され、その集大成として平成19年に生涯学習や交流活動の拠点となる図書館として、地域交流センター「うみ・みらい館」を開館し、宇美町の教育行政に大きく貢献されました。

思い出話では、町立図書館の建設で議会や町民の皆さんの理解を得るのに大変苦労されたこと。「継続は力なり」は自分自身大好きな言葉であり、子どもたちによく話されたことなどを語られました。

これからの町政に対しては、「宇美町は古い歴史を持つ町なので、貴重な文化財を展示できるように、もっと歴史民俗資料館を活用され、活気あふれるまちづくりを期待しています」と話していただきました。



令和3年度創立30周年を迎える井野小学校の平成5年度卒業記念で作成された額が体育館に掲示されており、安川初代校長の想いが受け継がれています。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか！

9月議会では7名が傍聴に来られました。

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)に定例議会が開かれます。役場3階の傍聴席入口で住所・氏名を記入し、ご入場ください。

次回の議会は、12月7日に開会予定です。

※ 詳しくは宇美町議会事務局 (TEL092-934-2248) までお問い合わせください。

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。

議会事務局のメールアドレスです。gikai@town.umi.lg.jp

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長	丸山 康夫
副委員長	平野 龍彦
委員	入江 政行
委員	安川 繁典
委員	南里 正秀
委員	飛賀 貴夫

Gikaiboutyou Meter 議会傍聴メーター

2018年3月議会から
議会傍聴に来られた
人数です。

300